

コロナ禍で仕事のやりがいの喪失と流産を経験
外出もままならない程の坐骨神経痛、
身体中の痺れ、不眠。
心身ともに絶不調だったが相談会を経て外出で
きるまで回復したケース

高島亜希代

日本ホメオパシーセンター大阪本部

日本ホメオパシーセンター大阪都島

(10月以降)

JPHMA認定ホメオパスNo.1031

ZENメソッド修得認定No.0467

【主訴(症状)】

38歳 女性

腰痛、坐骨神経痛。足が踏ん張れず長時間外出できない。
不眠(睡眠導入剤を服用しないと眠れない。)

要約

結婚。出産し、共働きで働いていたクライアント。2人目の妊娠を希望し、めでたく妊娠したが流産を経験。絶望の淵に落ち、さらに新型コロナウイルスの流行として仕事内容も激変し、やりがいや喜びも喪失していった。

畳み掛けるような精神の落胆にそれまで持っていた坐骨神経痛などの症状も急激に悪化し外出もままならないほどになっていたが、

相談会を通し絶望に向き合い、インナーチャイルド癒しをすることで身体の症状も良くなり外出できるようになった。

【経緯あるいはタイムライン】

- 31歳 結婚と同時に大阪へ引っ越し、就職
人間関係がうまくいかず退職
- 32歳 長女出産
- 36歳 2人目が欲しいので妊活
新型コロナの流行で仕事が激変
- 37歳 流産の経験 腰痛が悪化し整形外科で治療
- 38歳 仕事のストレス 流産を思い出し精神不安定
不眠、坐骨神経痛と診断され治療を受けるが
整形外科で電気治療を受けてからより痺れが悪化
長時間外に出ることもままならない

【手法とレメディー選択】

第1回2022年7月22日～第3回2022年9月30日

主訴：脚腰の痺れ、痛み 不眠
流産の悲しみ、絶望



まず「眠れずつらい」とのことから不眠の改善と 外出ができず通信相談
失った子への悲しみを癒すことに

随時：サポートShink サポートKan サポートJin
不眠、精神の落胆や身体の落ち込みに対して選択

寝る前：ジェモエッセンス：ニツケイ 魂の落胆、トラウマ
キダチアロエ 自分を許す

【手法とレメディー選択】

第1回2022年7月22日～第3回2022年9月30日

朝：アルポ

Nat-m LM 流産の悲しみに合致

Carb-v LM エネルギー、体力がとにかくない

Kali-c LM 関節の痺れ痛み動きにくさに対して

昼：アルポ

Tub Carc LM マヤズムのレメディ

夜：アルポ

Rhus-t LM 関節に痺れ、動きにくさがある

Ign LM 流産や元気に働けていない現状への悲しみ

Puls LM 関節の痛み動きにくさ
憂鬱だが望みが多い気質

【手法とレメディー選択】

第1回2022年7月22日～第3回2022年9月30日

他、使用したレメディー

Izumo-w. 30C 失って苦しんでいる（流産の喪失に）

Sec 6C 瘀血に 子宮内を整える

Mag-p 12X 痺れ、痛み

Kali-p 12X 神経の疲労、衰弱

Cimic 200C 流産の喪失感、悲しみ

Mar(Teucr) 6C

TBR2042：基調：動物磁気を受けること（メスメリズム）から：
を参考に電気治療で悪化していることから

【結果】

2回の相談会で腰、脚の痺れ痛みが改善→入眠時の頭痛薬が半分に
3回目の相談会以後、使用しなくても眠れるようになった。

3回目の相談会で「やはり電気治療が良くなかった」との言葉から
TBR：2042：基調：動物磁気を受けること（メスメリズム）から：を
参考にMar(Teucr)6Cをサポートに追加して、より関節の痛み、痺れ、
動かしにくさを中心にルーブリック化しKali-cを選択した。

1～3回目の相談会

「腰や足が痛く外出がままならない」→ Zoom相談

4回目の相談会

大阪センターまで来ることができるようになる

以降対面での相談会になった。

また外で作業の手伝いをしたり、遊びに出たりと外出できるようになった。

3回の相談会で睡眠導入剤の使用なしで入眠できるようになり、外出もできるようになったが、足腰の痺れが残るのと疲れやすい点を改善するために相談会を継続した。



【手法とレメディー選択】

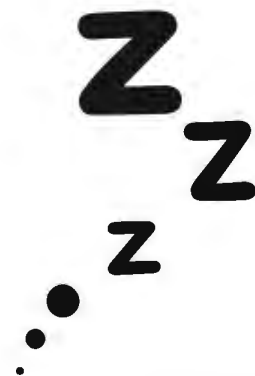
第4回2022年11月11日～第9回2022年6月23日

随時：サポート Sasae 身体、心の支えがない

サポート Hie-shisho 身体の循環が悪く、冷えている 他

+ Mar(Teucr) 6C 継続して追加

寝る前：MT) パッシフローラ 神経の過敏、不眠



【手法とレメディー選択】

第4回2022年11月11日～第9回2022年6月23日

朝:アルポ

Carb-v LM 体力、エネルギーがない

Kali-c LM 精神、関節の痺れ、痛み動きにくさ

Ferr LM 流産、不妊

昼:アルポ

Hakka-s-w 30C 自己卑下、人付き合いの苦手なところに

Wakutam-w 30C 理想的な自分(働ける自分)になっていない

Ontak-w 30C 霊性を上げる

Sakasah-w 30C 正常な細胞分裂を促す

Inf-V-C 30C 粒 新しいレメディーの2週間後から開始

夜:アルポ

Sep LM 腰痛、全身の鬱血 女性ホルモンを整える

【結果】

相談会ごとに身体の痺れが減っていった。

精神では「理想とする状態が強くあり、そこに近づいていない落胆が大きい」という気づきがあった。

7回目の相談会でこれまでの脚の痺れとは違う脚の違和感が出てきた。

クライアントが以前は作業療法士として医療機関で働いていたことで、インフルエンザワクチンを定期的に接種していたことがわかり、
Inf-V-C.30Cを出したところ、新しく出た違和感とともに最初の主訴がほぼ消失した。



【結果】

流産の悲しみ、人付き合いの苦手な部分へのインナーチャイルド癒しや理解を中心にサポート。

現在はとても前向きになっている。

引っ越しも決断できた。

また新たに妊活に挑戦したい気持ちになり、
相談会を経て

「自分だけが精神や体質を整えても仕方ない。夫婦や家族で理解し合いながら考えたい」と

夫と娘の相談会を希望されるようになり、現在、ご家族で並行して相談会を行なっている。



【考察】

患者と会話しながら治療にあたり「患者の役に立っている」という実感がクライアントの大きな喜びであった。

しかし新型コロナの流行で職場の体勢が大きく変化し、感染症対策として会話や他の患者との触れ合いも激減した。

お互いに会話もできずただ施術を無言で行うことに喜びが得られず、さらに職場の上司との関係も悪化、挑戦した妊活も初期流産してしまう。

以上のことが立て続けに起こり深く絶望した。



【考察】

精神の絶望や落胆を契機としてこれまで抱えていた腰痛やインナーチャイルドが吹き出し、家からほとんど出られない状態となった。

精神の落胆から身体の症状が大きく悪化したケースである。

初回の相談会では精神の落胆から悪化していることから、まず流産のトラウマを癒すこと。

職場で人間関係の悪化からの退職を繰り返すことについて、インナーチャイルド癒し、観察から行うことから始めた。

失った子どもとのお別れをすること。理想を高く設定し落胆しやすい、という気づきがありまず不眠の主訴が改善されていった。

精神の落胆が身体に大きく影響すると同時に精神の癒しからも身体が変化することがよくわかった。

レメディ的な働きかけももちろん大切だが信念の病に対するインナーチャイルド癒しもなくてはならないと思った例だった。